

最新技術体験会のご案内

「Refeyn」とは、Mass photometry法を原理とし1分子観察をベースとした、新しい分子量分布の測定技術です。

誰もが簡単に、短時間で、さらにごく微量のサンプルで溶液中の分子量分布が解析できます。

つまり、これまでのSDS-PAGE、SECクロマトグラフィー、DLS等で得られるデータが、わずか2分で取得可能になります。

今回この新しい測定装置の「Refeyn」の実機を学内に用意し、興味ある先生方のサンプルを測定する機会をご用意いたしました。

ご希望の方は、下記概要説明会へご参加の上、サンプルをご準備いただき、体験会へお申し込みください。



●デモ測定開催概要説明（Webセミナーによる説明）

日時：2024年10月2日 13:30~15:00

開催方法：Web会議にて体験会の詳細説明

内容：測定サンプルの調整等のご準備についてご説明

申し込み方法：QRコードもしくはホームページ

- ・ Mass photometry法の原理とアプリケーションのご紹介
- ・ 測定サンプルの調整等のご準備についてご説明

※体験会へご参加希望の方は、こちらの説明会ご参加の上、体験会への申込みをお願いします。

●体験会（デモ測定）

日時：2024年10月16日-18日

場所：理工学部9号館1階104号室

申し込み方法：QRコードもしくはホームページ

※体験会は1枠2時間の予約制となります。



【製品に関するお問合せ】

REFEYN
WEIGHING MOLECULES WITH LIGHT

レフェイン・ジャパン株式会社

657-0036 神戸市灘区桜口町1-1-14

<https://www.refeyn.com/>

担当：近 masato.kon@refeyn.com

【本セミナー・デモに関するお問合せ】

総合分析実験センター（担当：真瀬田）

TEL：0952-28-8896

E-Mail：rikoyoyo-staff@ml.cc.saga-u.ac.jp

2022年4月、Refeyn Japanが発足しました

2018年にスタートしましたRefeyn Ltd.は、2022年4月に、日本市場において更なる事業展開とサポート強化のため、これまで事業協業をおこなっていたライフサイエンスソリューションズ株式会社から事業譲渡を受け、2022年4月、我々は**レフェイン・ジャパン株式会社**を設立いたしました。セールスおよびテクニカルサポートの専任者を設置し、mass photometry法ならびにRefeynシリーズの各製品の日本市場への更なる展開を行いたいと思います。今後も変わらずのご愛顧いただきますよう、お願い申し上げます。

Mass Photometry法を搭載した 分解能の高い分子量分布

1 nMを切る濃度での検出

- SECのマイナーフラクション（数mAU程度）の濃度でも検出できる高感度
- 微量のコンストラクション評価に最適
- 分子形状に依存しない解析結果

超シンプルなオペレーション

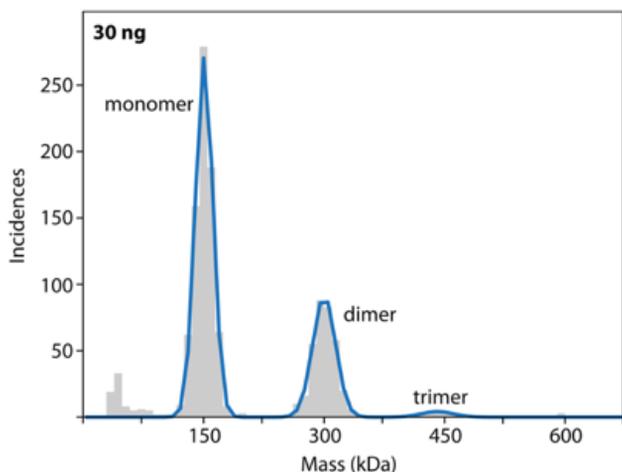
- 完全溶液系のバッチ式
- 完全非接触
- サンプル投入から結果算出まで2分間

豊富なアプリケーション

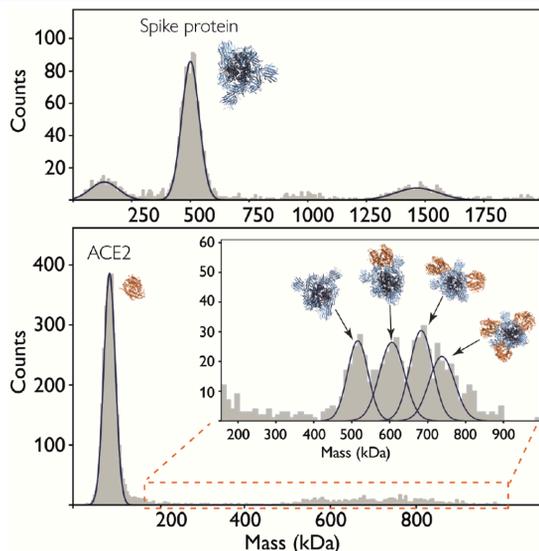
- タンパク質など高分子の複合体形成評価
- アデノ随伴ウイルス（AAV）のFull/Empty比率
- プラスミドDNA、Aptomerなど核酸化合物の分布
- 相互作用解析（抗原-抗体反応など）
など多数



Mass Photometryを用いたアプリケーション事例



MP法による治療用モノクローナル抗体の分子量分布



新型コロナウイルス（SARS-CoV2）スパイク蛋白質の分子量分布（上）と、ACE2との相互作用による複合体の分布（下）